



# MGC TODAY

特色ある優良化学会社を目指して

## 第78期中間事業報告書

平成16年4月1日～平成16年9月30日

**MGC**

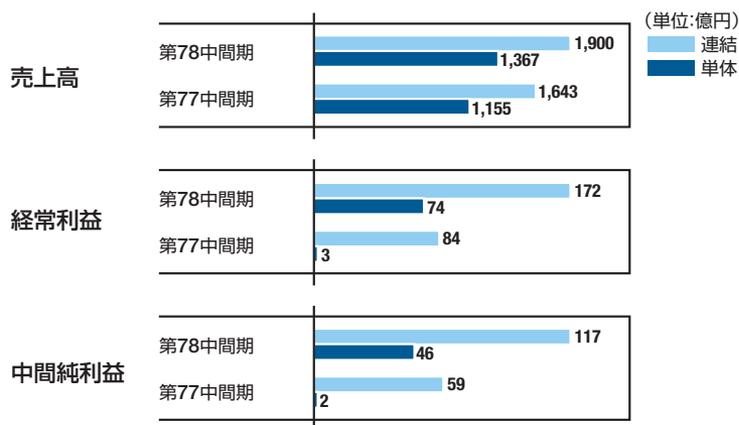
三菱ガス化学株式会社

(単位:百万円)

	前中間期 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	当中間期 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで
<b>連結経営実績</b>		
売上高	164,371	190,061
営業利益	4,474	13,859
経常利益	8,414	17,274
中間純利益	5,952	11,752
<b>単体経営実績</b>		
売上高	115,522	136,775
営業利益	271	6,832
経常利益	366	7,487
中間純利益	277	4,671

目次

株主の皆様へ	1
事業別営業概況	2
中間連結貸借対照表	4
中間連結損益計算書	5
中間連結剰余金計算書	5
中間連結キャッシュ・フロー計算書	5
連結子会社	5
中間貸借対照表	6
中間損益計算書	7
会社概要／役員	8
株式の概要	9





**平素は格別のご支援を賜り、  
厚くお礼申し上げます。**

**当社第78期上半期(平成16  
年4月1日から平成16年9月30  
日まで)の中間事業報告書をお  
届けするにあたり、ご挨拶申し  
上げます。**

当上半期のわが国経済は、おう盛な輸出や半導体、デジタル家電等の成長に支えられた企業業績が好調に推移し景況感は大きく改善しましたが、雇用や個人消費にまで十分波及するには至りませんでした。

当社グループを取り巻く経営環境は、石油化学素材やメタノールなどの原料価格が上昇する一方、中国向け輸出の活況や国内景気の回復基調に支えられ、堅調に推移しました。

このような状況下、当社は平成15年度を初年度とする3ヵ年連結中期経営計画「協創2005」の基本方針に沿い、引き続き事業構造の改革にグループ会社と一体となって取り組み、収益の改善に努めてまいりました。

当上半期の連結業績は、売上高は前年同期比で256億9千万円増加し1,900億6千万円、営業利益は93億8千万円増加し138億5千万円、経常利益は88億5千万円増加し172億7千万円、中間純利益は58億0千万円増加し117億5千万円となりました。

また、当社単独の業績につきましては、売上高は前年同期比で212億5千万円増加し、1,367億7千万円、経常利益は71億2千万円増加し74億8千万円、中間純利益は43億9千万円増加し46億7千万円となりました。

前期は見送らせていただきました株主の皆様への中間配当金でしたが、今期につきましては上記業績等を勘案して1株当たり2円50銭とさせていただきます。

今後の経済情勢につきましては、民間需要の増加などを背景に国内景気の回復基調が継続するとの見方がある一方、原油や石油化学原料素材の価格動向や中国及びアメリカ経済の減速などによる影響が懸念されます。

当社グループといたしましては、以上のような状況認識の下、引き続き「協創2005」に掲げる諸施策の達成に精力的に取り組み、グループ全体として一層の収益改善に努めてまいります。

株主の皆様には、何卒倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

**小高 英紀**

## 化学品事業

化学品事業の当上半期の売上高は、前年同期比で165億7千万円増加し1,087億9千万円、営業利益は38億4千万円増加し44億0千万円となりました。

### <メタノール・アンモニア系製品群>

メタノール事業は、北米天然ガス価格の高止まりと引き続き世界的な需給ひっ迫を背景に、前下期以降に下落すると思われた国際市況が再び上昇したことから、持分法適用会社の日本・サウジアラビアメタノール(株)及びメタノール デ オリエンテ、メトール、S. A. (ベネズエラ)の業績が好調に推移しました。

ホルマリンは自家消費を含めた内需が好調に推移しました。

アンモニアは定期修繕の影響で販売数量は減少しましたが、北米天然ガス価格の高止まりを受け市況は高値で推移しました。

アミン系製品は、国内販売、輸出ともに好調で増収となりました。

メタクリル酸系製品では、MMAは透明樹脂用途等の需要が好調に推移し、また原料価格の高騰に対しては適宜製品価格の是正を進めた結果、増収となりました。同様に誘導品のエステル系製品も、原料価格の高騰により全般に価格が上昇して増収となりました。MMAとスチレンの共重合樹脂等を製造する持分法適用会社の日本アクリエース(株)の業績も好調に推移しました。

多価アルコール類は、好調な中国向け輸出に支えられ増収となりました。

天然ガス採掘に随伴する原油の販売は、原油価格の高騰から好調に推移しました。

### <キシレン系製品群>

原料キシレン価格の高騰を受けて製品価格が上昇した結果、全

般に大幅な増収となりました。

メタキシレンは、イソフタル酸を製造する連結子会社エイ・ジイ・インタナショナル・ケミカル(株)の原料用途の増加などにより好調に推移しました。

MXナイロンは、内需が一部用途で低調だったものの、欧州向けPETボトル用途が好調に推移しました。

芳香族アルデヒド類は、一部ユーザーにおける在庫調整の影響を受けた製品もありましたが、全体では前年同期並みの売上高を維持しました。

パラキシレンは、市況が高値を維持したことなどにより好調に推移しました。

持分法適用会社のダイヤティーエー(株)経由で販売する高純度テレフタル酸は、販売価格が上昇して堅調に推移しました。

オルソキシレン・フタル酸は、原料価格の高騰を受けて国際市況が上昇し、国内需要家向けの価格は正も浸透しましたが、充分な損益の改善には至りませんでした。

### <工業薬品類>

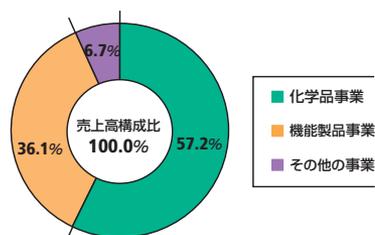
過酸化水素は、新規工業用途向けの出荷が順調に拡大し、販売価格の上昇もあったことから損益が改善されました。

ハイドロサルファイトは、概ね前年同期並みの業績を維持しました。

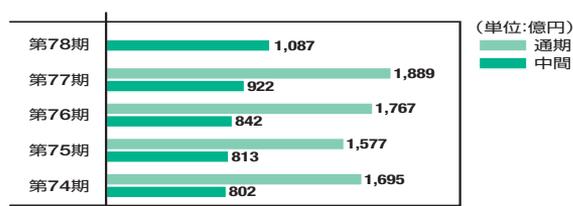
過硫酸塩類は、輸出が減少したもののプリント配線板用途の需要が好調で、前年同期並みの売上を維持しました。

なお、水加ヒドラジン事業は、本年4月より合併会社のエムジーシー一大塚ケミカル(株)へ移管しました。

### 事業別売上高比率



### 化学品事業売上高



## 機能製品事業

機能製品事業の当上半期の売上高は、前年同期比で76億1千万円増加し685億9千万円、営業利益は54億3千万円増加し89億4千万円となりました。

エンジニアリングプラスチックは、依然として原料価格の上昇が続きましたが、主要需要家である電気・電子業界や自動車業界向けの動きが堅調に推移したことから増収増益となりました。また、連結子会社のタイポリアセタールCO.,LTD.は、前期中に実施した増産工事の効果とおう盛な需要により好調に推移しました。持分法適用会社の三菱エンジニアリングプラスチック(株)及び韓国エンジニアリングプラスチック(株)も堅調に推移しました。

プリント配線板用材料は、デジタル機器等の好調により半導体需要が高水準で推移したことから販売数量が増加したほか、原料高を背景に価格是正を進めた結果、増収増益となり、連結生産子会社のエレクトロテクノ(株)ではフル生産の状態が続きました。また、プリント配線板用小径孔あけ補助材料「LEシート」も販売数量を伸ばしました。

## その他の事業

その他事業の当上半期の売上高は、前年同期比で15億0千万円増加し126億7千万円、営業利益は1億0千万円増加し5億2千万円となりました。

技術販売は、メタノール法水素ガス製造技術の引き合いが半導体業界から増加したものの売上となる案件は無く、大幅な減収と

電子工業用薬品類は、輸出及び半導体、液晶向け用途が好調で増収増益となったほか、連結子会社の三永純化(株)(韓国)等の業績も堅調に推移しました。

脱酸素剤「エージレス®」は、猛暑の影響を受けて食品向けの国内販売が不振でしたが、欧米への輸出が増加したことにより前年同期並みの売上高を維持しました。

レンズモノマーは、新規ユーザー向けの出荷が始まったものの、既存ユーザーへの販売数量減少により、前年同期並みの業績に止まりました。

酵素・補酵素類では、海外で需要が拡大するとともに国内で健康食品としての効用の認知が進んだコエンザイムQ10が増収となりました。

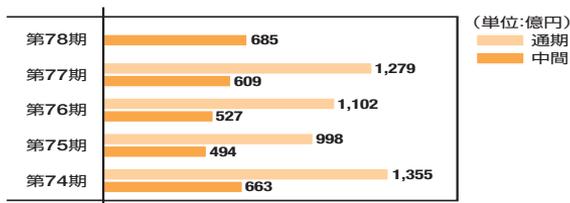
なお、需要回復の遅れから業績不振が続く磁性ガーネット単結晶は、連結生産子会社のフォトクリスタル(株)を本年9月末をもって当社に吸収合併することにより、事業の再構築を進めることといたしました。

なりました。

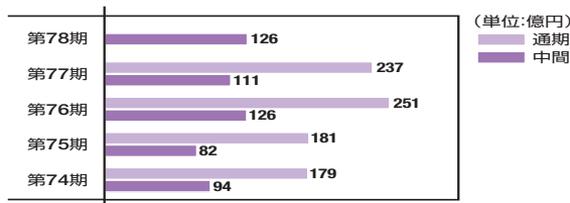
連結子会社である日本パイオニクス(株)は、半導体業界向けのガス精製・除害装置の販売増で売上高が増加しました。

地熱事業の蒸気販売は、蒸気生産量の自然減衰や改修工事の影響により若干の減収減益となりました。

### 機能製品事業売上高



### その他の事業売上高



# 中間連結貸借対照表

CONSOLIDATED INTERIM BALANCE SHEET

(平成16年9月30日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>203,890</b>	<b>流動負債</b>	<b>193,061</b>
現金・預金	25,511	支払手形・買掛金	73,779
受取手形・売掛金	112,780	短期借入金	86,751
有価証券	934	一年内償還社債	10,000
たな卸資産	50,877	その他	22,530
その他	13,787	<b>固定負債</b>	<b>94,168</b>
		社債	11,000
		長期借入金	70,684
		退職給付引当金	9,959
		その他	2,524
		<b>負債合計</b>	<b>287,229</b>
<b>固定資産</b>	<b>281,462</b>	<b>(少数株主持分)</b>	<b>6,763</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>157,233</b>	<b>(資本の部)</b>	
建物・構築物	47,926	<b>資本金</b>	<b>41,970</b>
機械装置・運搬具	72,842	<b>資本剰余金</b>	<b>35,538</b>
土地	24,370	<b>利益剰余金</b>	<b>114,535</b>
その他	12,093	<b>土地再評価差額金</b>	<b>192</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>3,489</b>	<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>9,635</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>120,739</b>	<b>為替換算調整勘定</b>	<b>△6,653</b>
投資有価証券	109,118	<b>自己株式</b>	<b>△3,858</b>
その他	11,621	<b>資本合計</b>	<b>191,360</b>
<b>資産合計</b>	<b>485,353</b>	<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>485,353</b>

中間連結損益計算書

CONSOLIDATED INTERIM STATEMENT OF OPERATIONS

(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

(単位:百万円)

科 目	金 額
<b>売上高</b>	<b>190,061</b>
売上原価	154,280
販売費及び一般管理費	21,922
<b>営業利益</b>	<b>13,859</b>
営業外収益	7,240
営業外費用	3,825
<b>経常利益</b>	<b>17,274</b>
特別利益	266
特別損失	2,606
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>14,934</b>
法人税、住民税及び事業税	2,603
法人税等調整額	0
少数株主利益	577
<b>中間純利益</b>	<b>11,752</b>

中間連結剰余金計算書

CONSOLIDATED INTERIM STATEMENT OF RETAINED EARNINGS

(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

(単位:百万円)

科 目	金 額
<b>資本剰余金期首残高</b>	<b>35,538</b>
資本剰余金増減高	—
<b>資本剰余金中間期末残高</b>	<b>35,538</b>
<b>利益剰余金期首残高</b>	<b>104,649</b>
中間純利益	11,752
その他利益剰余金増減高	△1,866
<b>利益剰余金中間期末残高</b>	<b>114,535</b>

中間連結キャッシュ・フロー計算書

CONSOLIDATED INTERIM STATEMENT OF CASH FLOWS

(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

(単位:百万円)

科 目	金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>6,332</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,451</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△8,296</b>
現金及び現金同等物に係わる換算差額	451
現金及び現金同等物の増減額	△4,963
現金及び現金同等物の期首残高	30,418
現金及び現金同等物の期末残高	25,455

連結子会社

化学品事業

日本ヒドラジン工業(株)  
 永和化成工業(株)  
 エーアンドシー(株)  
 菱江化学(株)  
 菱陽商事(株)  
 ミツビシガスケミカルシンガポールPTE,LTD.  
 ミツビシガスケミカルアメリカ,INC.  
 P.T.ペロクシダ インドネシア プラタマ  
 共同過酸化水素(株)  
 フドー(株)  
 (株)フドーテクノ  
 エイ・ジイ・インタナショナル・ケミカル(株)

機能製品事業

日本サーキット工業(株)  
 エレクトロテクノ(株)  
 (株)ダイヤテック  
 三永純化(株)  
 エムジーシーピュアケミカルズアメリカ,INC.  
 タイポリアセタールCO.,LTD.  
 東洋化学(株)  
 富士化成(株)  
 (株)東京商会  
 米沢ダイヤエレクトロニクス(株)

その他の事業

日本バイオニクス(株)  
 木江ターミナル(株)  
 海洋運輸(株)  
 菱和エンタープライズ(株)  
 国華産業(株)

# 中間貸借対照表

INTERIM BALANCE SHEET

(平成16年9月30日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>135,444</b>	<b>流動負債</b>	<b>122,364</b>
現金・預金	7,274	支払手形	866
受取手形	3,759	買掛金	41,359
売掛金	82,991	短期借入金	55,962
有価証券	4	一年内償還社債	10,000
たな卸資産	31,109	その他	14,176
その他	10,304	<b>固定負債</b>	<b>66,797</b>
<b>固定資産</b>	<b>187,079</b>	社債	10,000
<b>有形固定資産</b>	<b>101,940</b>	長期借入金	49,542
建物・構築物	33,420	退職給付引当金	5,761
機械装置	44,287	その他	1,493
土地	15,409	<b>負債合計</b>	<b>189,162</b>
その他	8,823	<b>(資本の部)</b>	
<b>無形固定資産</b>	<b>1,393</b>	<b>資本金</b>	<b>41,970</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>83,745</b>	<b>資本剰余金</b>	<b>35,668</b>
投資有価証券	45,499	<b>利益剰余金</b>	<b>50,281</b>
関係会社株式・出資金	34,287	<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>9,299</b>
その他	3,958	<b>自己株式</b>	<b>△3,858</b>
<b>資産合計</b>	<b>322,523</b>	<b>資本合計</b>	<b>133,361</b>
		<b>負債・資本合計</b>	<b>322,523</b>

## 中間損益計算書

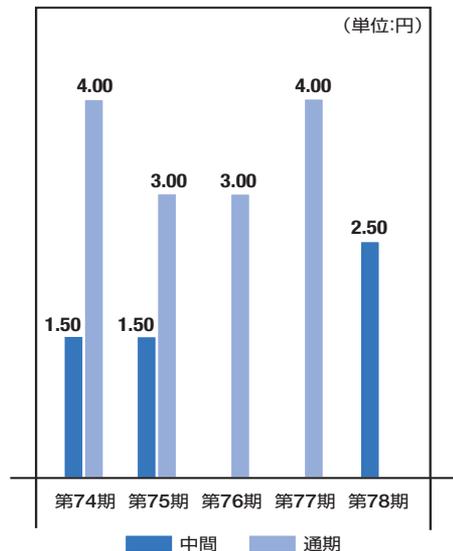
INTERIM STATEMENT OF OPERATIONS

(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

(単位:百万円)

科 目	金 額
<b>売上高</b>	<b>136,775</b>
売上原価	116,158
販売費及び一般管理費	13,785
<b>営業利益</b>	<b>6,832</b>
営業外収益	3,675
営業外費用	3,020
<b>経常利益</b>	<b>7,487</b>
特別利益	273
特別損失	2,416
<b>税引前中間純利益</b>	<b>5,344</b>
法人税、住民税及び事業税	322
法人税等調整額	351
<b>中間純利益</b>	<b>4,671</b>
前期繰越利益	3,137
合併による子会社株式消却損	352
<b>中間未処分利益</b>	<b>7,456</b>

## 1株当たり配当額



(平成16年9月30日現在)

(平成16年9月30日現在)

## 社名

三菱ガス化学株式会社(登録商号:三菱瓦斯化学株式会社)  
MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.

## コーポレートシンボル



## 本社所在地

〒100-8324  
東京都千代田区丸の内二丁目5番2号 三菱ビル

## 事業所

営業所:大阪支店、名古屋支店  
研究所:総合研究所、東京研究所、新潟研究所、  
平塚研究所  
工場:東京工場、新潟工場、水島工場、四日市工場、  
大阪工場、山北工場、鹿島工場

## 主要取引銀行

(株)東京三菱銀行 三菱信託銀行(株)  
農林中央金庫 (株)みずほコーポレート銀行  
(株)横浜銀行

代表取締役  
会長

大平 晃

代表取締役  
社長

小高 英紀

代表取締役  
専務執行役員

中村 博海

代表取締役  
専務執行役員

喜嶋 安彦

取締役  
常務執行役員

川木 隆雄

取締役  
常務執行役員

上松 正次

取締役  
常務執行役員

酒井 和夫

取締役  
常務執行役員

川崎 敏雄

取締役  
常務執行役員

梅村 俊和

取締役  
常務執行役員

山崎 慶重

執行役員

川上 邦彰

執行役員

臼田 邦介

執行役員

雨谷 章一

執行役員

白田 憲男

執行役員

原田 正廣

執行役員

宮内 雄

執行役員

宮坂 一博

執行役員

杉原 康夫

執行役員

塚本 耕三

執行役員

大矢 邦夫

執行役員

上石 邦明

執行役員

畑 仁

監査役

尾方 康紀

[常勤]

監査役

池田 幸男

[常勤]

監査役

野口 一英

[常勤・社外]

監査役

田口 弥

[非常勤・社外]

## 株式の概要

## STOCK INFORMATION

(平成16年9月30日現在)

上場証券取引所 東京・大阪・名古屋 各証券取引所第一部

発行済株式総数 483,478,398株

株主数 41,930名

大株主	株主名	持株数	持株比率
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	31,878千株	6.5%
	日本生命保険相互会社	29,542千株	6.1%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	19,889千株	4.1%
	明治安田生命保険相互会社	16,795千株	3.4%
	株式会社東京三菱銀行	16,403千株	3.3%
	モルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・インターナショナル・リミテッド	14,252千株	2.9%
	三菱信託銀行株式会社	11,686千株	2.4%
	農林中央金庫	10,053千株	2.0%
	株式会社みずほコーポレート銀行	9,803千株	2.0%
	旭硝子株式会社	9,671千株	2.0%

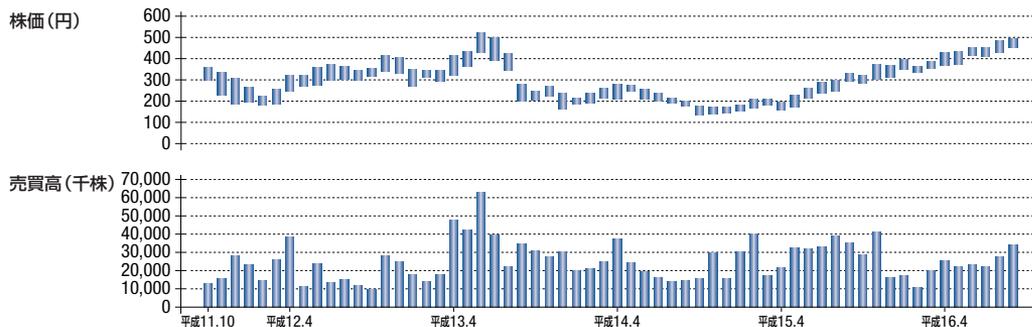
※当社は自己株式を20,968千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

## 所有者別分布状況

(政府及び地方公共団体 -%)



## 株価等の状況



## 株式についてのご案内

決算期 .....	3月31日
定時株主総会 .....	6月下旬
同総会権利行使株主確定日 .....	3月31日
利益配当金支払株主確定日 .....	3月31日
中間配当金支払株主確定日 .....	9月30日
1単元の株式数 .....	1,000株
公告掲載新聞 .....	東京都において発行する日本経済新聞
※貸借対照表及び損益計算書につきましては、決算公告に代えて当社ホームページの次のアドレスにて開示しております。	
<a href="http://www.mgc.co.jp/kessan/">http://www.mgc.co.jp/kessan/</a>	
名義書換代理人 .....	三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所 .....	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同事務取次所 .....	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
電話お問合わせ .....	〒171-8508
郵便物送付先 .....	東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話 (0120)707-696 (フリーダイヤル)

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙、及び株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っております。

### 単元未満株式の買取請求について

単元未満株式の売却をご希望の場合(買取請求)は、名義書換代理人にてお取扱いいたします。

ただし、証券保管振替機構に株券を預託されている場合には、預託窓口の証券会社にお申し出ください。

**MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.**